

カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatica</i> Kitam.	絶滅危惧Ⅱ類
		キク科
選定理由	生育地、個体数ともに減少している。	写真(国立科学博物館) 
形態の特徴	茎は高さ50-80cm。根出葉は開花時には枯れて無い。茎葉は披針形あるいは長楕円状披針形、先は尖り、基部は茎を抱き、縁に細かい鋸歯があり、長さ5-8cm。頭花は茎や枝の先に1個つき、直径3.5-4cm、舌状花と筒状花からなる。小花は黄橙色。総苞は半球形、緑色。	
生態的特徴	日当たりのよい湿地に生える多年草。花期は7-9月。	
分布状況	朝鮮及び中国北部からシベリヤにかけて分布し、日本では北海道から九州まで分布する。岐阜県では県北の北方と県南に南方に見られる。	
減少要因	開発による湿地の埋め立てと、採取による。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘